



2023年 5月30日  
第209号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



# イーハトーブ

5月30日号

ここ数年、地球温暖化の影響が突然のゲリラ豪雨や季節外れの気温の寒暖差など、これまでに経験の無い事態に私たちは直面している。また度々山にいる野生動物が餌を求め街に出てきて、私たち人間の生活を脅かすニュースも聞く。

今まであり得なかったことが、当たり前になりつつある。これらは自然が破壊されつつある表れではないか？人類は誕生してから、自然と共存してきた。しかし、産業革命以降、資本主義社会のもと急激な経済発展をし、私たちの生活は豊かになった。その一方で私たちは地球の資源を収奪してきたのである。

この環境破壊に手を打つべく、国連はSDGsと称した活動を打ち出している。ゴミの分別、マイボトル持参、フードロス削減と身近になっている取り組みも多い。しかし、そこにも資本の金儲けの意思が働いている。SDGsと銘打ち、新たなものを開発することで新たな環境破壊が起きている。

先日広島で開催されたG7の中で「核兵器廃絶」と首相は宣言したが、核兵器どころか戦争そのものが環境破壊だ。ウクライナ侵攻では、ウクライナに武器を提供する欧米各国の軍事会社やロシアに依頼を受けた民間軍事組織が、平和や地球環境を破壊している裏で金儲けをしている。これがそが戦争の本質である。核兵器廃絶はもちろん、戦争を廃絶しなければならぬ。

資本家の一時の金儲けで平和と地球環境が危ぶまれている。これからの世代に平和で緑ある環境を残すか否かは、労働者としてどう行動すべきか、私自身もそうだがその真価が一人ひとりに問われている。(A・K)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちが外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。